

◆ あとがき ◆

年の瀬はさすがに鎌倉も観光客が減りいつもの静かな街になっていました。湘南鎌倉総合病院の高層階からは富士山が見えます。毎年「もう冠雪があったかなあ」などと思いつつ病棟回診をしています。今年は、お正月早々に、もう梅の花が咲いていました。秋深まる頃はブラームスが聴きたくなりますが、真冬はどうでしょうか？ そうだ、シューベルトを聴いてみよう。

今回の特集はAKIの基礎と臨床です。急性腎不全という言葉からAKIになりましたが、筆者は急性腎不全の病態生理で博士号をもらっています。当時、誰も見向きをしなかったし、考えもしなかった急性腎不全の糸球体病理を研究しました。糸球体では光学顕微鏡でももちろん、透過電験でも変化は目立ちません。ところが走査電験で観察すると見事に糸球体内皮細胞に大きな変化がありました。内皮小孔が無くなっていたのです。初期では減少し、回復したら穴が元に戻っている。つまりGFRを規定する K_f (濾過係数) = L_p (透過係数) × A (濾過面積) のAの減少からGFRの低下をきたす可能性を示唆しているという論文でKidney Internationalに掲載され、無事大学院を卒業しました。あれからおおよそ半世紀が経ち、今回の執筆者の鋭い視点が何より改めて筆者への刺激となりました。AKIの診断から病態病理、CKDへの移行など臨床現場で極めて大きな問題となっています。今回はこれらに加えて、miRNAとEVs、再生医療などは大いなる興味を惹きました。

箱根駅伝では、またも凄いことが起こりました。ラグビーもある。そうだし祝いの酒は菊正宗でいこう。

小林 修三

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1
本郷宮田ビル5階 ☎ 03-3814-8541
メディア・カ 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9
アド 第1長谷川ビル2階 ☎ 03-5776-1853 (代)
文京 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6
メディカル 本郷大原ビル6階 ☎ 03-3817-8036 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は©東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告——第100巻第2号(2月号)

特集 CKMを考える

総論

保存的腎臓療法(CKM)の意義と国際的動向……平和伸仁
CKMの意思決定プロセス……岡田一義
日本におけるCKMの現状と課題……阿部雅紀
高齢腎不全患者におけるACP—CKMを活かす……会田薫子
多職種連携によるCKM実践モデル……角谷裕之・他
各論

高齢者CKD患者におけるCKMの導入基準……加藤明彦
多疾患併存患者に対するCKMの意思決定

——心不全、アクセストラブル例への対応……常喜信彦
CKMと緩和ケアの統合……丹波嘉一郎
透析導入を回避したCKM実践例の紹介……北村浩一
在宅医療との連携によるCKMの展開……三浦久幸
地域包括ケアとCKM……嶋野 修
CKMにおける薬剤管理……水野智博
CKMと貧血管理……倉賀野隆裕
CKMと電解質・酸塩基管理……頼 建光
CKMと高血圧・心不全管理……城島昂太
CKMにおける倫理的課題

——倫理的ジレンマと支援……三浦靖彦
CKMにおける医学教育と啓発の取り組み……猪阪義隆
CKMを巡る今後の研究課題……中山昌明
CKMにおける法的支援……竹口文博
統計調査からみた透析非導入の実態……若杉三奈子

連載 腎臓学 100 年史

第11回 腎移植 100 年史……齋藤和英

名誉主幹／秋澤忠男	飯野靖彦		
編集顧問／五十嵐隆	遠藤 仁	小椋陽介	川村哲也
木村健二郎	小山哲夫	酒井聡一	坂井建雄
佐中 孜	塩之入洋	高市憲明	堀江重郎
細谷龍男	矢崎恒忠	山口 裕	山田 明
竜崎崇和			
編集主幹／有村義宏	小林修三	新田孝作	
編集委員／青柳一正	安西尚彦	安藤亮一	伊藤秀一
河原克雅	菅野義彦	清水 章	高橋公太
高橋 悟	坪井伸夫	長田道夫	服部元史
平和伸仁	星野純一	本田浩一	横尾 隆

KIDNEY AND DIALYSIS
腎と透析

第100巻第1号
2026年1月25日発行
定価 3,190 円(本体 2,900 円 + 税 10%)

編集 腎と透析編集委員会

発行所 株式会社 東京医学社
〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16
URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>
編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649
E-mail: jin@tokyo-igakusha.co.jp
営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629
E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2026 年年間予約購読料

①2026 年1月号～2026 年12月号+増刊号:
定価 52,800 円(本体 48,000 円 + 税 10%)
②2026 年4月号～2027 年3月号+増刊号:
定価 52,800 円(本体 48,000 円 + 税 10%)
※前金予約購入に限り送料無料。